

ぬかただより

岡崎市立
額田図書館

夏号 No. 51
2019年6月発行



霊水がバス停を作った？

桜形町に『桜形細野霊水』というおいしい湧き水があります。場所は道路の脇にあり、すぐに見つけられます。遠方から水を汲みに多くの人が訪れたため、名鉄に陳情し『桜形細野霊水』というバス停を作ったほど。運びやすいよう台車が置いてあり、とてもきれいに整備されていました。汲んだ湧き水で緑茶とコーヒーを淹れたところ、いつもよしまるやかな感じがしました。



桜形細野霊水



延命水

わくわく♪湧く水

環境省の『平成の名水百選』に選ばれた『鳥川ホタルの里湧水群』。名前のついている『延命水』『大岩の水』『庚申の水』『産湯の滝』などで水が汲めます。一番水量が豊富な『延命水』では、平日にも関わらず、湧き水を求めて市内の他、蒲郡市、豊田市からも人が訪れていました。また、この湧水群で育てた、地元産のお米もあるそうです。

秘境部門第1位！

平成27年に、環境省がインターネット投票による『名水百選選抜総選挙』を実施。

『鳥川ホタルの里湧水群』は『秘境地として素晴らしい名水部門』にエントリーし、第1位になりました。

鳥川地区の民話のひとつに、冒頭が次のような句で始まるおはなしがあります。『いわしぼる 水のうまさや 鳥川路』。鳥川ホタルの里湧水群は『平成の名水百選』に選ばれていますが、その昔からお水がおいしかったのですね。今回のテーマは水。地元の人が大切に守っている額田の水についてお伝えします。

名水百選とは？

環境省(当時環境庁)が昭和六十年に選定した全国百か所の湧水、地下水、河川です。加えて、平成二十年、新たに『平成の名水百選』が選定され、現在は併せて二百選となっています。

市町村から挙げられた候補の中から決まりました。

水質だけじゃない！

選定の評価事項は、水質、水量、周辺の自然環境、水利用の状況、名水の由来や歴史、保全活動等があります。平成の名水百選では特に、地域住民等による、主体的かつ持続的な水環境の保全活動が行われているものが重視され、選ばれました。



♪ホ、ホ、ホ〜タル来い



ゲンジボタルの生息地で知られる鳥川ホタルの里。水質悪化などの影響で一時は数が激減してしまいましたが、住民と地区の学校とが協働で河川清掃など環境保護活動を行った結果、その努力が実り、ホタルの飛翔数が回復しました。ホタルの生息は水質が良いことを示す目安になります。鳥川を含む額田地区のゲンジボタルは、現在、岡崎市の天然記念物に指定されています。

例年は五月下旬〜六月中旬、午後八時〜九時頃によく見られます。

かき氷街道



昨年の夏から額田地区で始まった、『おかざきかき氷街道』。七つのお店で、果実、お茶、野菜など額田の恵みをふんだんに使ったかき氷を味わうことが出来ます。水には保久町の神水地区で採水される天然水(超軟水)を使用。この『かき氷街道』は、県が認定する『いいともあいち食の街道』に、昨年度岡崎市で初めて選ばれました。

今年(2019年)は四月二十八日〜九月三十日まで

☆ おはなし会 ☆
 毎月第2土曜・第3木曜 10:30~11:00
 ※木曜はちいさいこ(0.1.2歳)向けです。
 【夏の開催日】
 6/8(土)、6/20(木)
 7/13(土)、7/18(木)
 8/10(土)、8/15(木)

おはなし会の
 スタンプを集めると
 プレゼントが
 もらえるよ♪

☆ ブックスタート ☆
 偶数月第1木曜 10:00~11:00
 【夏の開催日】
 6/6(木) 8/8(木)



としょかん
図書館クイズ!

とけい
 おはなしコーナーの時計から
まいじかんなが
 毎時間流れるメロディのタイトルは何?

なに
 ① となりのトトロ
 ② さんぽ
 ③ あるこう

こた
 答えはおたよりの最後です

ヒント お〇〇〇〇に出かけよう!

夏号のおすすめ本



ちいさいこむけ

『ココさんとあめふり』

片山健/さく・え 福音館書店 CE/E/コ

まいにち、まいにち雨ふりです。

ココさんは、てるてるぼうずを作りますが、雨はなかなかやみません。そこでココさんはてるてるぼうずに、手紙や宝物を入れてお願いしました。

さて、ココさんの願いはかなうのでしょうか…。



YA向け

『君が夏を走らせる』

瀬尾まい子/著 新潮社

YA/913.6/セオ

高校生の「俺」はこの夏、もうすぐ2歳になる女の子のお世話をする事に!先輩、本当に「俺」でいいんですか?

金髪・ピアスの不良少年が、初めて小さな子どものおむつを替えたり、ご飯を食べさせたりと大奮闘。真剣に女の子に向き合う中、少しずつ変化していく少年の姿が描かれます。

本当は素直で優しい高校生の物語です。



小学生向け

『水はめぐる』

もしも地球がひとつの井戸だったら』

ロシェル・ストラウス/作 汐文社 452/ミ

地球にある水はつながっていて、たったひとつのみなもとがあるだけです。わたしたちはその“井戸”から水をくみだして生活しています。しかし今、“井戸”にはきれいな水がありません。水をよごさない、むだにしないなど、私たちにできることはないのでしょうか?

身近な水について考える本です。



しちじゅうにこう

七十二候では、夏の季節に『腐草螢と為る』(ふそうほたるとなる)という候があります。

螢が明かりを灯し飛びかう頃。むかしの人は、腐った草が螢に生まれ変わると信じたそうです。

螢は梅雨時の風物詩。この時期は外出するのがおっくうですが、きれいな水辺の螢、おいしい湧き水、かき氷街道など、額田の「水」を満喫しに出かけませんか。そして…心の潤い補給には読書がおすすめです。



岡崎市立額田図書館

檜山町字山ノ神 21 番地1 Tel.82-2953

【開館時間】9:00~19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館